

障害がある人が楽しめる 表現活動を地域に ～シンポジウムとパフォーマンス～

2018年
9月8日(土)

13:00開演(12:30開場)
16:00終演予定

セッション杉並ホール
(杉並区梅里1-22-32)

入場料：無料

第1部 シンポジウム

[司会] 前嶋元…日本福祉文化学会理事 東京立正短期大学

[登壇者] 武井浩司…杉並区役所元障害者施策課長
障害者の余暇支援施策について

川口吾妻…女子美術大学教授
アート表現が地域課題解決に果たす役割

佐藤弘美…杉並障害者自立支援センターすだち
ガイドヘルパーの苦悩と実践からの提言

高橋博…杉並区障害者団体連合会会長
当事者からの期待と要望

第2部 パフォーマンス

[出演] みんなのダンスフィールド <https://www.inclusive-dance.org/>

ビレッジセブン <http://village-7.com>

ハニービー & マダムシスターズ



みんなのダンスフィールド

障害がある人の余暇の過ごし方について、支援のあり方を考えるシンポジウムです。重度の障害がある方の外出を支援するサービスは充実してきていますが、ご本人の望む継続的な活動の場を地域に確保することが課題といえるでしょう。

音楽やアートなど表現活動自体が持つちからを活かし、障害がある方と地域の人が共に楽しめる場の創造につなげる。障害がある方の日々を豊かにする多様な表現活動を生み出すために、今何が必要なのかを会場の皆さんと共に考えたいと思います。

第二部は、障害がある人が参加した表現活動を続けているグループによるパフォーマンス。みんなで楽しめるステージです。



ハニービー & マダムシスターズ



ビレッジセブン

主催：福祉芸術支援協会 (WASA)

後援：杉並区 杉並区社会福祉協議会 日本福祉文化学会 東京立正短期大学

協力：杉並区障害者団体連合会